

わたし考^{こういち}さんと **いまこそ!** くらし応援の市政に



マスコミは「平松対橋下」などと言っています。しかし本当の争点は、開発優先、福祉切り捨ての平松・橋下両氏か、ムダづかひやめて市民のくらしを守る、わたし考一かです。

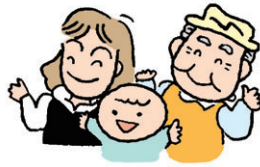
1 原発ゼロを発信 自然エネルギー・ 防災日本一の大阪市へ

関電筆頭株主の大阪市から原発ゼロを発信。太陽光発電への補助制度や震災・津波対策の抜本的強化など、自然エネルギーと防災の先進都市をめざします。



2 国保料1人1万円値下げ 福祉先進都市 大阪市へ

大阪市の市税額は、大都市のなかで第1位。敬老パスは無料で守り、高すぎる国保料の値下げなど、福祉先進都市=大阪をつくります。

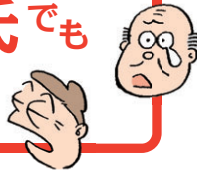


3 雇用・中小企業 応援で大阪再生を

融資の改善や、官公需発注の拡充、住宅リフォーム制度、町工場への家賃補助など、中小企業の仕事を増やし、経営を守ります。公契約条例の制定など、労働者の雇用と権利を守ります。



**平松氏でも橋下氏でも
市民は災難**



国保料は大幅値上げ

平松市長は値下げの願いに背を向け、滞納者からは生命保険まで差し押さえ。橋下知事は国保への市町村の補助をなくすことを狙っています。そうなれば1世帯2万円もの値上げに。どちらになっても市民負担は増える一方です。

敬老パスは大改悪

平松市長は回数制限や所得制限など敬老パスの改悪を狙ってきました。橋下知事は市営地下鉄・バスを民間に売却するというのです。これでは敬老パスはなくなり、市バス路線はズタズタになります。

ムダな大型開発はどちらも大賛成

高速道路など、1兆円もの巨大開発をすすめようという立場は平松市長も橋下知事も同じです。大阪経済再生に役立たず、儲かるのは大企業・大銀行だけです。

橋下知事・
「維新の会」の
暴走ストップを

学校の先生や市職員を「首切り」でおどしていいなりにしようというのは独裁者そのもの。絶対に許せません。